

あおもり市議会だより

ぎかいの森

令和3年第3回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

特 集

除排雪業者

in あおもり

Vol. 19

令和3年11月

写真：青森市道路補修事務所にて 左から大矢建設工業株式会社 白川部長、株式会社大坂組 大坂社長、株式会社西田組 西田社長

目 次

特集	P 2
議決した主な議案	P 4
こんなことを聞きました。	P 5
トピックス	P 16



特

集

除排雪業者

in あ お も り

今回の特集は除排雪業者がテーマ。除排雪は、世界でも有数の豪雪都市である青森市にとって、毎年避けて通れない課題であり、昨冬は特に、断続的な降雪が連日続くなど、多くの市民の皆様にとっても関心が高いことかと思えます。そこで、深夜から朝にかけて安全に留意し、一所懸命、除排雪作業に携わり、冬期間の市民生活を支えている除排雪業者の3名の方にお集まりいただき、やりがいや除排雪する際の留意点、行政に伝えたいことなどをお聞きしました。



今回の特集記事の取材にご協力いただいた除排雪業者の皆様。
左側から、株式会社大坂組の大坂憲一代表取締役社長、株式会社西田組の西田文仁代表取締役社長、大矢建設工業株式会社の白川裕章営業部長。

〔議員〕 それでは、よろしくお願

いたします。初めに、これまでやりがいを感じてきたことについて、お聞かせください。

〔大坂社長〕 消防、救急等に対応す

るための道路を確保するというこ
とで、なくてはならない仕事とい
うことが1つのやりがいになって
います。

〔西田社長〕 私もそうですが、携わ

った社員が本当に市民のお役に立
っているというところがやりがい
につながっていると感じています。

〔白川部長〕 市民の方から感謝の温

かい言葉を頂けるのが素直にうれ
しいし、やりがいを感じます。ま
た、今シーズンは私たちが除雪し
ている様子を描いた筆文字のイラ
ストを頂き、大変感激しました。

〔議員〕 やっぱり、自分がやったこ

とが感謝という形で返ってくるこ
うのはすごい喜びになりますね。
では、除排雪の際、留意している
点についてお聞かせください。

〔西田社長〕 夜間の作業ということ

で、特に安全に気を付けています。
あと時間制限もあるので、夜が明
けるまでに成果を出せるようス
ピード感を持ってやっています。

〔白川部長〕 高齢者や障がい者だけ

の世帯に関しては、極力寄せ雪を
軽減するよう、オペレーターに指
示しています。

〔大坂社長〕 昨年から新型コロナウ

イルス感染症対策も徹底していま

すし、技術の継承ということ、雪が降る前から若い重機のオペレーターに練習してもらっています。

〔議員〕 その中でも昨シーズンは大変だったと思いますが、苦慮した点について教えてください。

〔白川部長〕 重機をフル稼働しても作業が追いつかず、ダンプの手配にも苦労し、結果的に除排雪作業に遅れが生じました。市民の皆様にはご不便をおかけいたしました。

〔大坂社長〕 どうしても国道や県道を優先して除排雪しなければいけなくて、市道が後回しになってしまつ。しかも、一番長い路線は市道なんですね。そういう意味では、国、県、市が一層協力する体制をつくってほしいです。

〔議員〕 さらに情報共有を進める必要がありますね。青森市に対しての要望はありますか。

〔西田社長〕 年間を通しての路線の

維持管理みたいな形で仕事ができる、雇用の確保と機械の保有ができるので、検討していただきたいです。

〔大坂社長〕 西田社長が言っている除雪と道路の維持管理を一緒にした取組を県ではやっていて、そうすることで、どこに穴があるのかとか、ここが危ないからゆっくり行こうとか、長年の経験を一体化できます。そうすれば、冬だけしか使わない高額な機械に投資するリスクを少しでも減らせます。事業の継続ということでは、みんな考えていく除雪を目指す必要があると思います。

〔議員〕 最後に、市民の皆さんにメッセージをお願いします。

〔白川部長〕 これからも青森市、そして市民の皆様と連携を図り、市民生活をお守りするために真摯に取り組んでまいりますので、ご協

力をお願いいたします。

〔西田社長〕 一緒です。ご協力を賜ればと思います。除雪が入ると、様々不便をおかけする場面もありますが、ご理解いただければと思います。

〔大坂社長〕 様々な工夫と努力をしながら、市民の皆さんと共にやりましょうということだと思えます。〔議員〕 本日は、貴重なお話を頂き、誠にありがとうございました。



取材を終えて。ご協力誠にありがとうございました。

(取材日:令和3年8月30日)

青森市議会

議決した主な議案です。

令和3年第3回定例会

会期32日間 8月27日～9月27日

第3回定例会で可決等した

議案・請願

市長提出議案22件中……………22件

(可決14件、認定5件、

可決及び認定1件、同意2件)

議員提出議案6件中……………5件

(可決)

請願10件中……………3件

(採択)

■ 以上の中から主なものをお知らせします。なお、全ての議案名と結果は、*市議会ホームページで御覧いただくか、議会事務局へお問合せください。

その1

令和3年度9月補正予算案を可決しました

今期定例会では、浪岡地区におけるバドミントン競技によるまちづくりを推進させるための県外から浪岡中学校または浪岡高校に入学してくる生徒を対象とした入学生支援金の創設及び住環境の整備に要する経費や、除排雪業務において、A-1やICTなどの新技術等を活用した渋滞原因の把握、解析及び渋滞原因の解消作業の効率化・高度化に関する検証を行うために要する経費等を計上した一般会計補正予算案が提案されました。市議会では、これら議案について、原案のとおり可決し、補正後の令和3年度青森市一般会計予算は次のとおりとなりました。

令和3年度青森市一般会計補正

予算額

7億386万円

補正後の予算額

1千262億3千425万円

その2

令和2年度決算を認定しました

今期定例会では、地方自治法の定めにより議会の認定に付さなければならぬ決算について、令和2年度一般会計・各特別会計決算をはじめ、各企業会計決算に係る議案が提案されました。

提出者からは、一般会計・特別会計全体の実質収支はいずれもプラスであったこと、病院事業会計では全体で325万余円の純利益を計上し、資金不足比率は前年度より5・7%改善し、11・7%となつたこと、水道事業会計では2千106万余円の純損失を計上したこと、自動車運送事業会計では2億4千762万余円の純損失を計上し、資金不足比率が9・9%となつたことなど、それぞれ説明がなされ、市議会では、これら議案について原案のとおり認定（水道事業会計の剰余金の処分については可決）しました。

その3

青森市手数料条例の一部を改正する条例案を可決しました

●青森市手数料条例の一部を改正する条例

今期定例会では、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の使用等に関する法律」の一部改正により、個人番号カード（いわゆるマイナンバーカード）作成等の事務を行っている地方公共団体情報システム機構が発行手数料の徴収者となることに伴い、条例に定める再交付手数料の規定の削除、また、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」等の公布に伴う条項の整理など、所要の改正を行うための条例案が提案されました。

市議会では、同案について、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

その4

財産の取得に係る議案を可決しました

今期定例会では、議会の議決が必要な予定価格2千万円以上の動産の買入れとして、ロータリ除雪車4台と圧雪車1台の購入に係る議案が提案されました。

現在、市が所有している除雪機械の保有状況は、ロータリ除雪車が10台（大型5台、小型5台）、グレーダーが5台、タイヤショベルが1台となっており、生活道路等における除排雪作業を支援するため、新たにロータリ除雪車4台を取得するものであり、また、圧雪車については、現在所有している3台のうち、1台が老朽化しているため、新たに1台を取得するものです。

市議会では、同案について、全会一致で可決しました。

質

問

質

疑

こんなことを

聞きました。

第3回定例会において行われた一般質問、予算特別委員会、決算特別委員会の質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

●質問・質疑を行った議員・委員数

●第3回定例会

一般質問	21名
予算特別委員会	17名
決算特別委員会	14名

※本会議での一般質問等の様子については、生中継及び録画映像の配信をしていますので、下のQRコードからアクセスの上、御覧ください。



各議員の質問・質疑は、6ページから15ページにかけて掲載しています。

防 災



防災対策事業について

あおもり令和の会
藤田 誠ふじた まこと

Q 津波ハザードマップについて、町会等の防災活動に活用しやすい形での公表をすべきと思いますが、市の考えをお示しください。

A 当該マップについては、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震を想定したもので、浸水区域内に位置する6万6千540世帯及び7千890事業所に配布することとしており、また、ホームページに掲載する際には、町会単位までマップを拡大しても、建物等が鮮明に確認できる高い解像度のファイルを使用するなど、活用しやすいものとなるよう工夫してまいります。

庁 舎



市役所本庁舎外構整備について

日本共産党
藤原 浩平ふじはら こうへい

Q 市の木であるアオモリトドマツを本庁舎の敷地内に植えるべきと思うが、市の考えをお示しください。

A アオモリトドマツは、亜高山帯に生育している常緑針葉樹ですが、平成24年第3回青森市景観審議会において、市役所新庁舎新築工事について審議していただいた際、樹木医の委員から、枯死する可能性が高いとの意見、また、当該審議会から、都市緑化の環境に合わないことから、植栽に使わないでいただきたいとの意見書を頂いたことから、現時点では、植栽については考えておりません。

市民生活



カダールのWiFi環境の整備について

市民クラブ
工藤 健くどう けん

Q カダールにおいて、利用者への月額数千円のポケットWiFiの貸出しは、市民活動の可能性を生かす効果を考慮すれば、その費用を十分に上回ると考えますが、市の考えをお示しください。

A カダールのWiFi環境の整備に当たりましては、利用者団体のWiFiの利用目的、ニーズ、設置コスト等を把握することが必要であり、現時点での導入は考えていませんが、市民活動の活性化は大変重要であることから、今後、利用目的等を調査してまいりたいと考えています。



男女共同参画プラザ「カダール」

経 済

A 今年度は、昨年度と同程度以上の販売率に意を用い、商品券の購入の利便性向上のため、商品券販売所は4か所増の計76か所設置し、また、商品券利用の利便性向上のため、利用可能店舗は102店舗増の2千40店舗に登録いただいたところです。現時点での商品券の販売率は、昨年度と同様の80・7%となり、昨年度と同程度の経済効果が見込まれるものと考えています。

Q 昨年度の青森市プレミアム付商品券事業を踏まえ、今年度、同事業の実施に当たり、どのような工夫をしているのかお示しく下さい。



新型コロナウイルス感染症防止対策に係る支援事業について

自由民主党 中田 靖人
なかた やすひと

観 光



千葉作龍氏の作品
[Crazy Apple]

A 令和2年の青森ねぶた祭の中止を受け、ねぶた師による新たなアート作品を披露する舞台を創設し、冬の青森の新たな魅力を創生することを目的に本事業を実施しました。その事業費は3千405万7千579円であり、その財源として、国の補助金1千701万5千円を活用しております。なお、メインイベントであるねぶたの技法を用いたアート作品の制作・展示に要した費用は2千769万3千770円となっております。

Q ねぶたアート創生プロジェクト開催事業の事業費をお示しく下さい。



ねぶたアート創生プロジェクト開催事業について

自由民主党 中村 節雄
なかむら せつお

農 林 水 産

A 市では、鳥獣対策の新たな取組として、令和3年3月に青森市鳥獣被害防止対策協議会を設立するとともに、青森市鳥獣被害対策実施隊を組織し、追い払い活動や被害調査等に着手したところであり、鳥獣被害防止対策について広く周知を図るため、まずは鳥獣被害件数が多い地域の町会等を対象とした説明会の開催に向け、協議してまいりたいと考えています。

Q 農作物の鳥獣被害の多い地域等を対象に、対策に向けた説明会等を開催すべきと思いますが、市の考えをお示しく下さい。



農業に係る鳥獣対策について

自由民主党 奥谷 進
おくや すすむ

緑色は、文教経済常任委員会に関連する質問・質疑です。

農林水産



農家への支援策について

あomorい令和の会
渋谷 勲しづたに いさお

Q 令和3年産米の概算金が大幅に下落しましたが、農家への支援策等、本市の対応をお示しください。

A 今回同様に米価が大幅に下落した平成26年産米について、国は、農業者の資金繰り対策を行うとともに、飼料用米の取組の推進など、10項目の対策を実施し、市では、国や県の事業を活用した米・畑作物の収入減少影響緩和対策を実施したところです。今後、市としては、収穫される米の収量や確定した生産者概算金、国や県、農業協同組合などの関係企業の動向を注視していきたいと考えています。

教育



学校施設について

あomorい令和の会
木戸 喜美男きど きみお

Q 新城中央小学校は開校から36年経過し、敷地内のフェンスが老朽化してきておりますが、この老朽化した部分についての今後の対応をお知らせください。

A 新城中央小学校の敷地内のフェンスについては、これまでも老朽化が著しく、かつ、児童に危険が及ぶ可能性がある部分を修繕しており、令和3年8月には、老朽化して倒れていた学校北側の通路のり面のフェンスを撤去しています。今後も、フェンス全体の状況について、随時現状把握に努め、適切に対応してまいります。

教育



今年度開催する成人式について

あomorい令和の会
神山 昌則かみやま まさのり

Q 今年度開催する成人式の開催概要をお示しください。

A 昨年度延期した令和2年度成人式は令和3年12月26日に、令和3年度成人式は令和4年1月9日に、新成人や全ての青森市民が不安なく成人式を祝えるよう、また、新成人に地域との関わりを認識してもらえるよう、19の各中学校とアウガ5階のAV多機能ホールの計20か所での分散開催とし、青森市立中学校を卒業した方は出身中学校の会場へ、それ以外の方などはアウガ会場へ御参加いただくこととしております。

教育



1人1台端末を使った相談体制について

公明党 軽米 智雅子

Q これまでの教育相談体制と現在の1人1台端末を活用した教育相談体制の違いをお示しく下さい。

A 教育委員会では、これまで、電話、メール、来室による相談を行ってきたおり、令和2年度は385件の相談がありました。相談者の大半は保護者で、児童・生徒からの相談は7%でした。令和3年度から1人1台端末も活用した教育相談体制としたところ、4月から8月までの5か月間で221件の相談が寄せられ、そのうち児童・生徒からの相談が41・6%と大幅に増加したところです。

教育



通学路の安全について

日本共産党 万徳 なお子

Q 筒井南小学校の通学路では、蓋のない深い側溝に自転車に乗った小学生が落ちるといった事故が目撃されています。市では、当該箇所について、どのように対応するかお示しく下さい。

A 通学路については、青森市通学路交通安全・防犯プログラムに基づき、危険箇所の対策を行っており、筒井南小学校の通学路においては、令和3年8月に行われた通学路の合同点検により、蓋が設置されている道路東側を通行する路側帯を設けるための外側線の設置を予定しております。

教育



通学路の安全対策について

あおもり令和の会 館山 善也

Q 児童・生徒の通学路での事故が発生しており、全国で通学路の安全点検が行われたことですが、本市で実施した通学路の安全点検についてお示しく下さい。

A 今年度、各小・中学校からリストアップされた危険箇所について、学校や道路管理者等の関係機関による合同点検を実施したところ、市が管理する道路について、20か所が改善が必要とされ、通行スペースとして路側帯を設けるための外側線の設置や、交差点形状を明確にする視線誘導標の設置等の安全対策を検討しています。



通学路での安全点検の様子

教育



教育について

自由民主党
山本 治男

Q 令和3年7月に北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されました。今後、教育委員会では、縄文文化について、授業でどのように生かし、取り組んでいくのかお示しく下さい。

A 教育委員会においては、令和3年度新たに、小学校3・4年生及び中学校1年生に配付している副読本に世界遺産に関する特集ページを設け、登録に向けた取組や人々の思いなどについて学べるようにしており、これまで以上に広い視野で縄文時代の学習に取り組みさせることとしています。

教育



校則について

日本共産党
村川 みどり

Q 校則でツীবロックを禁止している中学校について、市の認識は、ツীবロックを禁止している高校の受験の際、その髪型で行くのは難しいとのことですが、受験のためのツীবロック禁止に納得していない子ども等に、禁止の理由をどう説明するかお示しく下さい。

A 一般的には、それぞれの場面でTPOに合わせた姿があり、一般社会であれば自由ですけれども、学校という、一般社会とは異なる社会にあつては、校長の判断の下、一定程度の制限があるのは認められるものと思っています。

教育



浪岡地区バドミントン移住学生支援事業について

日本共産党
天内 慎也

Q 浪岡高校について青森県教育委員会から最終的な回答がない中で、浪岡地区バドミントン移住学生支援事業に係る補正予算案を提案した市の考えをお示しく下さい。

A 当該事業については、青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画案の中核となる、全国からの生徒募集の導入校を決定する際の条件である県外生徒の生活環境の確保を先んじて実施し、浪岡高校への全国からの生徒募集、ひいては同校の存続を目指すものであり、本定例会に関連補正予算案を御提案しているところです。

教育

時間を予定しています。報酬は1時間1千600円で考えており、指導時間数の上限は平日4日間で8時間、土曜日は1日3時間、土曜日まで3時間の週11時間とする予定です。



学校での部活動の様子

Q 浪岡中学校に配置を予定している部活動指導員について、その概要をお示しく下さい。

A 部活動指導員の任用主体は市教育委員会であり、各学校に登録されている外部指導者の中から、地域のスポーツ文化に貢献があり、スポーツ指導に実績のある方に学校が声がけをし、学校長が意見書を添え、教育委員会で書類選考することを予定しています。報酬は1



浪岡地区バドミントン
住学生支援事業について

市民クラブ 木下 靖

教育

A 市では、当該計画案において、浪岡高校が閉校及び全国からの生徒募集の候補校から除外とされたことに異論があり、同校の存続のため、全国からの生徒募集の先駆的なモデル校とする部分修正を求めているものです。当該計画案自体のプロセスの妥当性については、県教育委員会及び県議会で議論されるべきもので、白紙撤回を求めるとは考えておりません。

Q 県に対し、青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画案の白紙撤回を求めるべきと思います。市の考えをお示しく下さい。



浪岡高校について

あおもり令和の会 中村 美津緒

都市整備

A 緑化相談への対応ではありますが、相談所の在り方、相談の方法、開設の時期等について、他市の状況も含め研究しながら、よりよい方法を検討してまいりたいと考えています。

Q 自宅で行うガーデニングは人気があり、緑化相談への需要は高まっています。市民一人一人が緑を増やすことで、街全体の緑が豊かになり、市民の心の健康増進にもつながると思いますが、いつでも電話やメールでの相談ができる常設の緑の相談所の設置について、市の考えをお知らせください。



緑と花の

まちづくりについて

あおもり令和の会 奈良岡 隆

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

除排雪



生活道路の除排雪情報の公開方法について

あもり令和の会
澁谷 洋子

Q 除排雪体制強化プロジェクトにおける生活道路の除雪情報の公開方法についてお示しください。

A 同プロジェクトにおける生活道路の除排雪情報を公開するためのシステム開発については、昨冬、生活道路の除雪状況に関する市民要望が多数寄せられたことを受けて、実施しようとするものであり、これまでのGPS情報を使った幹線・補助幹線などの路線ごとの公開ではなく、工区ごとの除排雪作業状況の公開を考えているところです。

都市整備



空き家対策について

日本共産党
赤平 勇人

Q 管理されていない空き家に対し、近隣住民は、長い間不安を抱いています。空き家対策の進捗状況についてお示しください。

A 市では、空き家等の対策をより効果的に進めるため、令和2年11月に空家等対策計画を策定し、令和3年7月からは青森地区において空き家実態調査を実施しています。今後は、本調査などで情報提供のあった空き家を調査し、倒壊等著しく危険となるおそれのある空き家等に対しては、有識者会議での意見を踏まえ、指導・助言等を行ってまいります。

福祉



コロナ禍における放課後児童会等について

あもり令和の会
里村 誠悦

Q 小学校が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休校となった場合、放課後児童会や児童館は開設されるのかお示しください。

A 放課後児童会及び児童館につきましても、小学校が臨時休校となった場合でも、国の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針における要請に基づき、原則、開設することとしております。しかし、利用者や関係者に新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者等が確認された場合は、感染拡大防止のため臨時休会や利用制限を行うこともあります。

福祉

員間での共通理解を図り、児童への支援とサポートの充実につなげたいと考えています。



放課後児童会の様子

発達障害の傾向のある子が増えてきている近年、各自治体において、作業療法士と放課後児童会の連携事業が広がってきていますが、本市の実施状況をお示しください。



放課後児童会について

市民クラブ 橋本 尚美

福祉

住居確保給付金については、令和2年4月に生活困窮者自立支援法施行規則の一部が改正され、支給対象者の年齢要件が撤廃されたこと、これまで支給要件としてきた公共職業安定所への求職の申込みが令和2年4月30日から同年12月までの期間は不要とされたことなどが考えられます。



住居確保給付金の案内(厚生労働省)

離職等により住居を喪失した方などに家賃相当分を支給する住居確保給付金の申請件数について、令和元年度の6件から令和2年度には117件に増加していますが、その理由をお示しください。



住居確保給付金について

市民クラブ 竹山 美虎

保健医療

小さいお子さんの保護者への優先接種については、その対象者が多く、ワクチンの供給量が厳しい中、他の市民の接種に大きく影響することから難しいですが、市としては、供給されるワクチンを速やかに接種できるよう、市医師会の御協力の下、個別接種の加速を図ってまいります。

妊娠・出産、子育て世代にコロナの感染が広がっています。子育て支援の観点から、小さいお子さんを持つ保護者にワクチンを優先的に接種することができないか、市の考えをお示しください。



子育て世代へのワクチンの優先接種について

自由民主党 小豆畑 緑

保健医療

A コロナ患者の増加に備えた市の取組として、ウエブ会議による医療関係者間での情報共有や消防本部との救急対応体制の確認を行ったほか、自宅療養者の在宅での医療提供体制の拡充を図るため、電話やリモートによる診療体制の拡充や血中酸素飽和度を測定するパルスオキシメーターを180台に増やすなど、自宅療養を支える体制の強化を図っております。



コロナ患者の増加に備えた市の取組について

市民クラブ 秋村 光男
あきむら みつお

Q 首都圏でコロナ患者が増加しており、今後、本市においてもコロナ患者が増加すると想定されますが、その対策についてお示しください。

保健医療

A 国はワクチン接種を希望する全ての対象者への接種を10月から11月にかけて終えることを目指すとの方針を掲げておりますが、本市においては、今後の国からのワクチン供給量が安定的に確保される前提において、青森市医師会の御協力の下、個別接種を着実に推進し、10月末にはワクチン接種希望者に対するワクチン接種のめどをつけたいと考えております。



新型コロナウイルス感染症への対応について

あomorい合和の会 山崎 翔一
やまざき しょういち

Q 本市における新型コロナウイルスのワクチン接種については、現時点でいつまでに終了する見込みかお示しください。

保健医療

A 本市では、国の「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」に準じ対応しておりますが、自宅で死亡した場合については掲載していないことから、その場合の処置等の注意点を掲載した手順書に関係機関と確認の上、作成し、今後、共有していくこととしております。



新型コロナウイルス感染症対策について

市民クラブ 奈良 祥孝
なら よしたか

Q 新型コロナウイルス感染症により自宅で亡くなった場合の対応に関するガイドラインはあるのかお示しください。

健康づくり

または撤去等を依頼していただきます。



「受動喫煙のない社会をめざして」ロゴマーク

Q 令和2年4月に健康増進法の一部を改正する法律が全面施行され、受動喫煙防止対策が強化されました。本市の取組をお示しくください。

A 市では、母子健康手帳交付時や乳

幼児健診時など、ライフステージを通じて受動喫煙に関する啓発を行

っているほか、事業者や市民か

らの相談についても解決に向けた

助言・指導を行っています。ま

た、令和2年度には、相談をき

かけに、受動喫煙を防止いた

だくよう、市内コンビニエンスストア

に対し、出入口付近の灰皿の移設

または撤去等

を依頼して

います。



たばこの健康被害

防止対策について

無所属 蛭名 和子

保健医療



A 接種実績につきましては、平成30年度は5件、令和元年度は18件、令和2年度は89件で、令和3年度は、6月に対象者等に個別通知をしたことにより、7月末時点で既に133件となっております。

Q 子宮頸がんは毎年約1万人が罹患し、約2千800人が亡くなられていますが、発症の6割から7割を占めるHPVの感染を防ぐ効果のあるワクチンの接種により、がんの発症を大きく抑えることができません。本市における平成30年度からこれまでのHPVワクチンの接種実績をお示しくください。



子宮頸がんワクチンの接種について

公明党 山本 武朝

予算決算

A 病院事業会計については資金不足が生じており、毎年度、起債の許可に当たり資金不足等解消計画の収支計画を作成し、県と協議を行ってきているところであり、市民病院の経常収支黒字化の目標年次については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による病院経営への影響等を踏まえ、令和10年度を目指していく方向で県と協議しているところです。

Q 「青森市公立病院改革プラン2016-2020」で目標としている市民病院の早い段階での経常収支黒字化の目標年次についてお示しくください。



病院事業会計について

自由民主党 丸野 達夫

マチイロによる「ぎかいの森」の配信を行っています

市議会では、スマートフォン・タブレット端末で簡単に市議会だよりを閲覧いただけるよう、令和2年2月から、無料アプリ「マチイロ」による配信を開始しました。

なお、マチイロでは、令和元年5月発行のVol.9以降の「ぎかいの森」を御覧になれます。

本会議の会議録を公開しています

市議会では、地方自治法の規定により作成した本会議の会議録について、市議会ホームページに「会議録検索システム」として公開しているほか、市議会事務局をはじめ、市民図書館、各市民センター・公民館に設置していますので、ぜひ御利用ください。

また、検索システムについては、詳しくは下記へお問い合わせください。

議会事務局議事調査課 017-734-5743

令和3年議員とカダる会の中止に伴う 市政及び市議会に関するアンケートを実施します

市議会では、議会基本条例に基づき議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）を毎年開催していますが、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況にあること、また、ワクチン接種の進捗状況や複数の変異株の拡大が懸念される現状を考慮すると、昨年同様、開催が難しい状況にあり、本年中の開催についても、やむなく中止することにしました。市民の皆様から直接御意見を伺う機会を設けられず、誠に申し訳ありません。

このため、代替措置として、次のとおりアンケートを実施しますので、市や市議会に対する市民の皆様のお意見をぜひお寄せください。1人でも多くの皆様からの御意見をお待ちしています。

※なお、いただいたアンケートにつきましては、本市のホームページに掲載する場合がありますので、御理解のほど、よろしくお願いいたします。

【アンケートへの回答方法】

- ①各庁舎等に来訪の際に回答（議会棟、本庁舎、駅前庁舎、男女共同参画プラザ「カダール」（アウガ5階）、柳川庁舎、浪岡庁舎、各市民センターにアンケート用紙と回収ボックスを設置しますので、その場で御記入の上、投函してください）
- ②オンライン（市議会ホームページまたは下のQRコードからアンケート入力フォームに移動し、御回答ください）
- ③FAX（017-734-5824まで
本ページを送信してください。）
- ④郵送（郵送先：〒030-8555
青森市中央1丁目22-5
青森市議会事務局議事調査課宛て）
※郵送料については御負担をお願いいたします。
- ⑤その他、市議会事務局への御持参、電子メール（gikai-gijichosa@city.aomori.aomori.jp）、議員を通じての提出でも構いません。



【締切り】

令和3年12月28日まで

問合せ：議会事務局議事調査課：017-734-5743

編集後記

議会広報紙編集会議委員 中村 美津緒

このたびの「ぎかいの森」は、いかがでしたでしょうか。

今後も、議会活動の内容をより分かりやすく、より伝わりやすい紙面構成に努め、市民の皆様が期待して「ぎかいの森」が待ち遠しくなるような、愛される紙面づくりに取り組んでまいりますので、皆様の御意見をぜひお聞かせください。

市政及び市議会に関するアンケート

※御記入が可能な部分のみで構いません。

問1 青森市に住んでいてふだん感じていること・お困りのことや、現在のコロナ禍において、御不便を感じていることなどがありましたら、何でもお聞かせください。

[]

問2 ①市議会では、あおもり市議会だより「ぎかいの森」を年4回発行していますが、御存じですか。

[読んでいる 知っているがほとんど読まない 知らない]

②「読んでいる」とお答えした方にお聞きます。特に興味を持って読む記事はどちらですか。

[特集 議決した主な議案
 各議員の質問・質疑 その他 特になし]

問3 その他、市議会に対する御意見・御要望などがありましたら何でもお聞かせください。

[]

問4 よろしければ御自身のことをお知らせください。

お住まい： _____ 地区（大字） 年齢： _____ 代

御協力、誠にありがとうございました。